

ECLIPSE

取付説明書

アンテナ分離型 DSRC ユニット
(光ビーコン VICS 対応機能付)

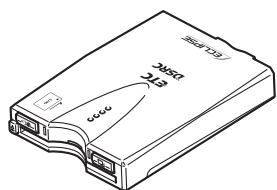
DSRC113

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 販売店様へ
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。
- 「取扱説明書」と「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

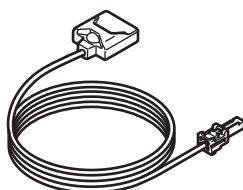
目次

● 取り付ける前に	・ 構成部品	2
	・ 安全に正しくお使いいただくために	3
	・ 取り付け概要	5
● 取り付けについて	・ アンテナ分離型 DSRC ユニットの取り付けについて	7
	・ ETC アンテナの取り付け	8
	・ 光ビーコンアンテナの取り付け	11
	・ DSRC ユニットの取り付け	14
	・ 配線作業	16
	・ 接続について - 例 -	21
	・ 取り付け完了後の点検について	22
	・ セットアップ要領 [セットアップ事業者 (販売店等) 様用]	25
	・ トラブルシュート [セットアップ事業者 (販売店等) 様用]	27
	・ 仕様	28

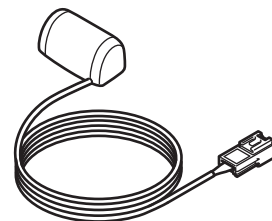
構成部品



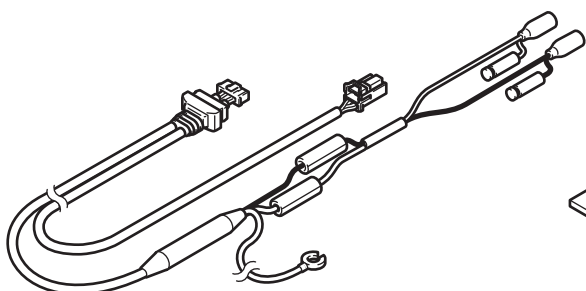
① DSRCユニット×1



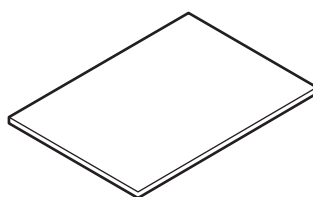
② ETCアンテナ
(ETC/ITSスポットアンテナ) ×1



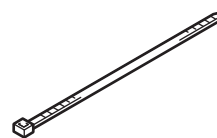
③ 光ビーコンアンテナ×1



④ 電源ハーネス×1



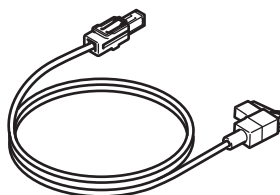
⑤ ハーネス固定テープ×1



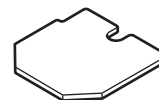
⑥ バンドクランプ×8



⑦ コードクランプ×6



⑧ DSRC用USBケーブル×1



⑨ 両面テープ×1



⑩ アースボルト (M6) ×1



⑪ 車載器管理番号シール

●その他の構成部品 (取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類)

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

- 本機は直流 12V (⊖アース) 車専用です。車両側電圧と DSRC ユニットの仕様をご確認ください。
- 本機は、四輪車専用です。二輪車へは取り付けしないでください。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしない。交通事故やケガの原因となります。
- 本機を、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしない。交通事故やケガの原因となります。
- 車両に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。
- 作業中のショート事故防止のため、取り付け前に必ずバッテリーの⊖端子をはずす。感電やケガの原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用してアースをとるときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のネジは使用しない。事故などの原因となります。
- コード類は運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。
- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しない。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 助手席にエアバックが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバックのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付けしない。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。

注意

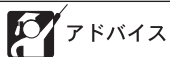
- 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気・ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。外れて事故やケガの原因となることがあります。
- 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- コード類を配線するときは、車両側部品とのかみ込みに注意してください。断線やショートにより事故や感電・火災の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。

取り付けの前に

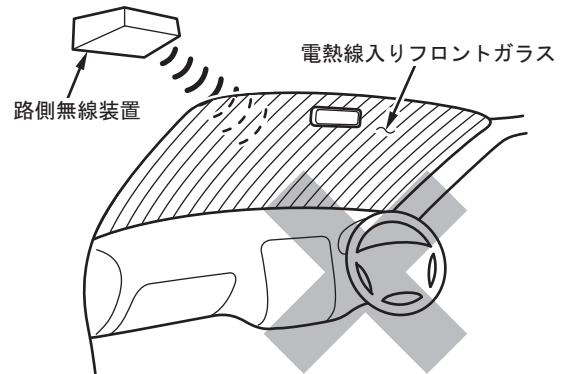


- 取り付け前に必ずバッテリーの⊖端子をはずしてください。
- 取り付け、固定する前に仮配線を行い本機が正常に動作するか確認してください。もし、正常に動作しない場合は、取り付けや配線を確認してください。

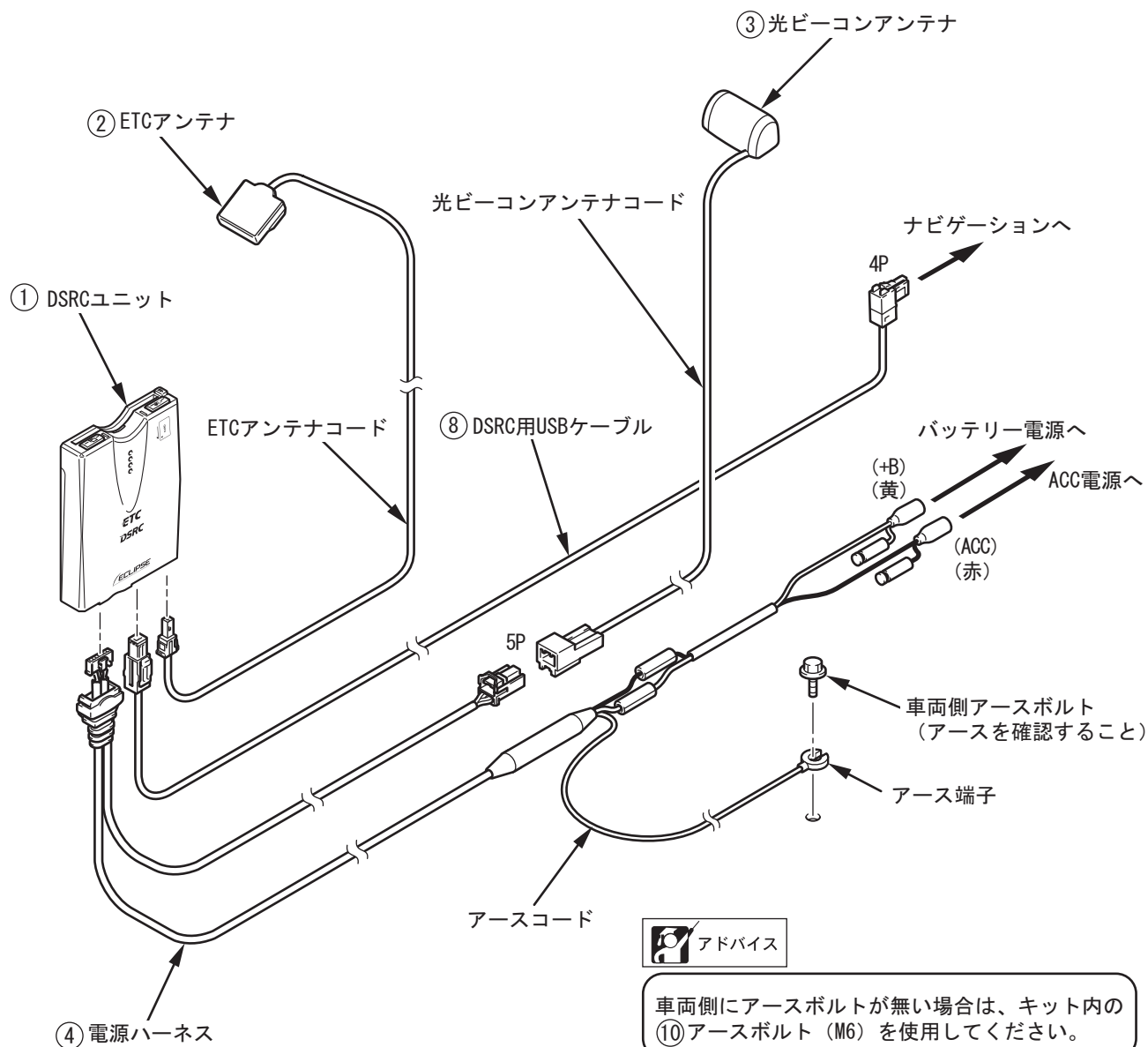
取り付けについて



- 取り付け位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- 本機は、凹凸のない平らな場所を選び、取り付けてください。
- 取り付け、固定する前に仮配線を行い本機が正常に動作するか確認してください。もし、正常に動作しない場合は、取り付けや配線を確認してください。
- 切断した車両ハーネスや接続コード類は、ショートしないよう絶縁処理してください。
- フロントガラスが熱線反射ガラスの場合、路側無線装置と通信ができないことがあります。
- フロントガラスが電熱線入りガラスの場合、路側無線装置と通信ができないことがあります。
- 路側無線装置間の通信を妨げる車両部品（クレーンなど）がある車両へは取り付けないでください。路側無線装置と通信ができないことがあります。
- 本書に記載する ETC アンテナおよび光ビーコンアンテナの取り付け条件を満たさない車両へは取り付けないでください。路側無線装置と通信できないことがあります。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内には ETC アンテナを取り付けることはできません。検知範囲について、詳しくはディーラー等にご相談ください。



取り付け概要

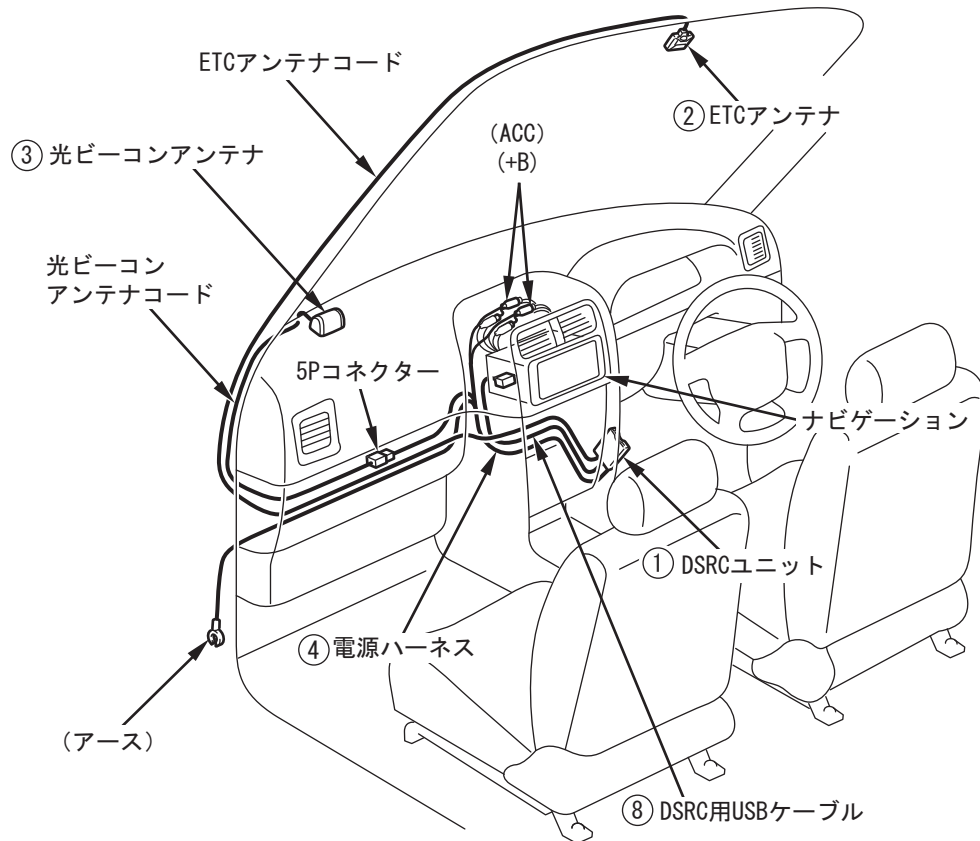


取り付けレイアウト（例）について

お客様の利用状況を確認した上で取り付け位置を決定してください。

⚠注意

- ・ ETCアンテナコード（3.5m）の長さを考慮して取り付け位置を決定してください。
- ・ 光ビーコンアンテナの5Pコネクタ位置は、接続し易い位置で電源ハーネスと接続してください。
【光ビーコンアンテナコード（1.5m）、5PコネクタからDSRCユニット（2.0m）】



アンテナ分離型 DSRC ユニットの取り付けについて

警告

- コード類は運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと危険です。
- 本機を、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。
- 助手席にエアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および動作時の妨げになるような場所には取り付けないでください。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。

注意

- 振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避けてください。外れて事故やケガの原因となることがあります。
- コード類を配線するときは、車両部品とのかみ込みに注意してください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。

ETC アンテナの取り付け

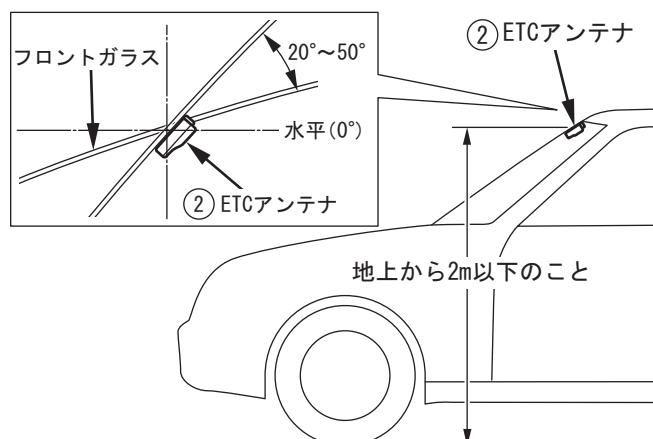
ー ETC アンテナの取り付け位置についてー

■ ETC アンテナはフロントガラスに貼り付けてください。



アドバイス

- ETC アンテナの貼り付け位置が地上から 2m 以下の高さであること。
- フロントガラスの ETC アンテナの貼り付け面が水平を基準にして、 $20^{\circ} \sim 50^{\circ}$ の範囲であること。



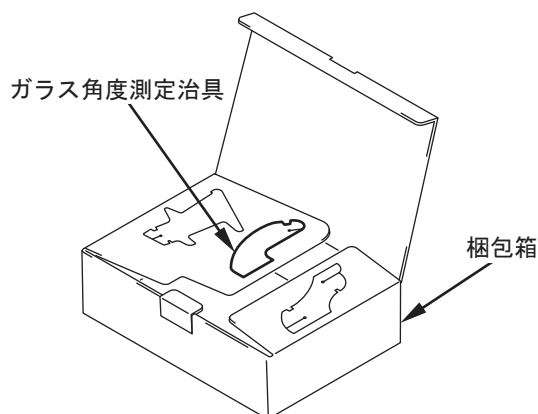
■ 以下の手順に従ってフロントガラスの傾斜角度を測定してください。

1. ガラス角度測定治具を梱包箱から切り離す。



アドバイス

切り離す際、ガラス角度測定治具が折れ曲がったり破れないようにしてください。

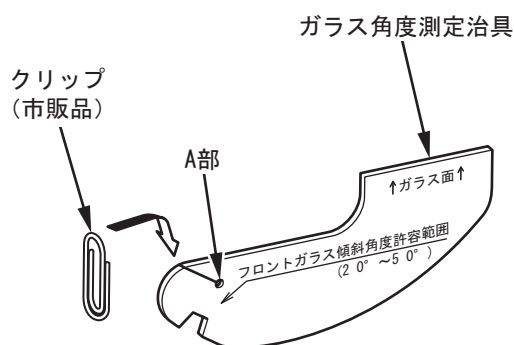


2. ガラス角度測定治具に市販のクリップを取り付ける。



アドバイス

A 部に穴をあけてクリップを通し、クリップが自由に動く状態にしてください。

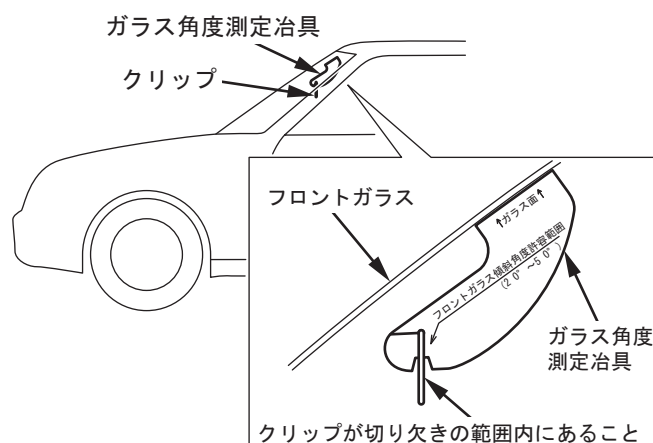


3. フロントガラスの貼り付け位置にガラス角度測定治具をあて、フロントガラスの傾斜角度を測定する。



アドバイス

クリップが切り欠きの範囲内にあることを確認してください。範囲外となる場合にはフロントガラス貼り付けは不可となります。



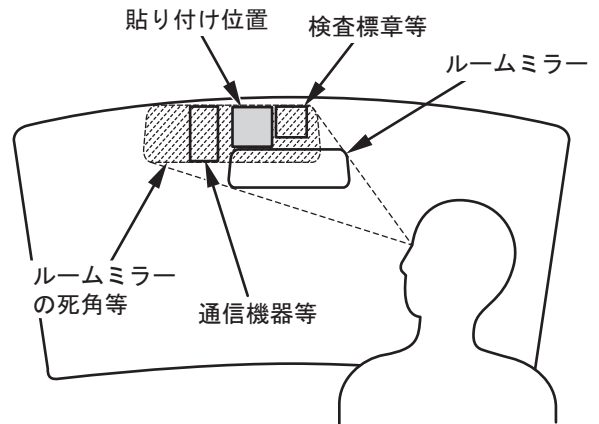
ー ETC アンテナのフロントガラス貼り付けー

■ 以下の条件に留意してフロントガラスに貼り付ける。



アドバイス

- フロントフィルムアンテナ、ドライブレコーダー、カメラやセンサー、他の通信機器、検査標章等と干渉しないこと。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内に入らないこと。
- ルームミラーの死角の範囲内で、運転者の視野を妨げない位置であること。
- 運転席に座った状態で ETC アンテナの発光部が確認できること。

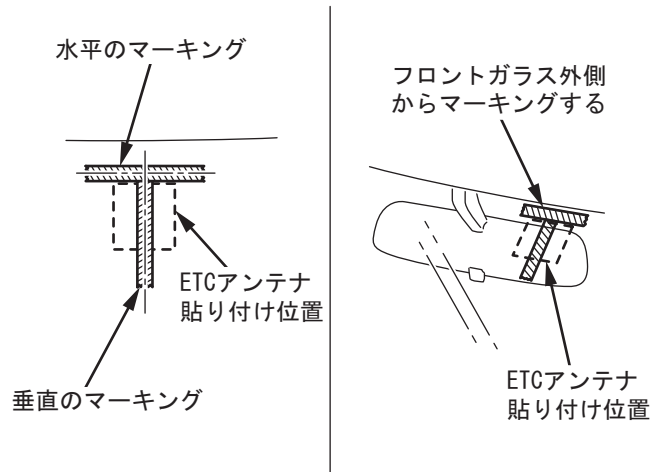


1. ETC アンテナ貼り付け位置のフロントガラス外側にガムテープ等で位置決めのマーキングをする。



アドバイス

フロントガラスの端面に ETC アンテナを取り付ける場合は、端から 10mm 程度離してください。

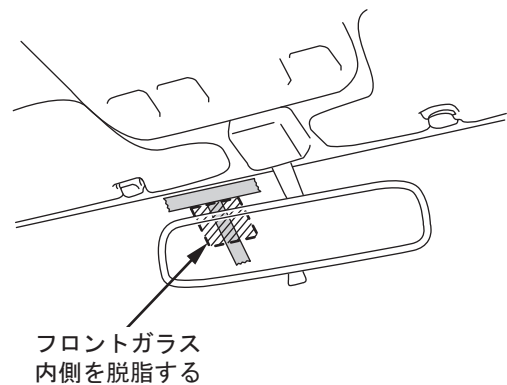


2. ETC アンテナ貼り付け位置のフロントガラス内側をクリーナー等で脱脂する。

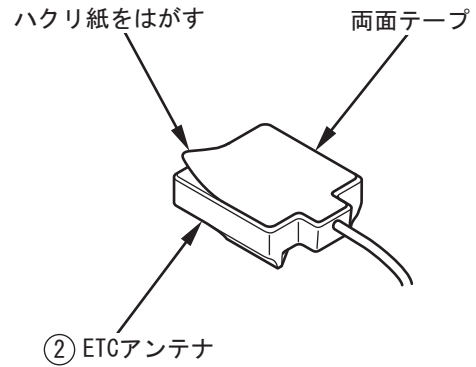


アドバイス

貼り付け位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふきとってください。



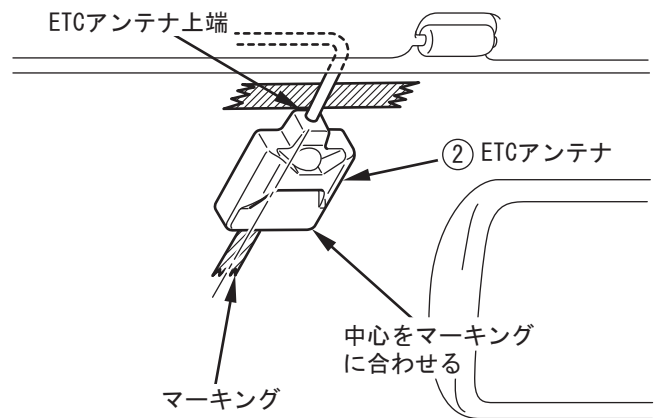
3. ETC アンテナからハクリ紙をはがす。



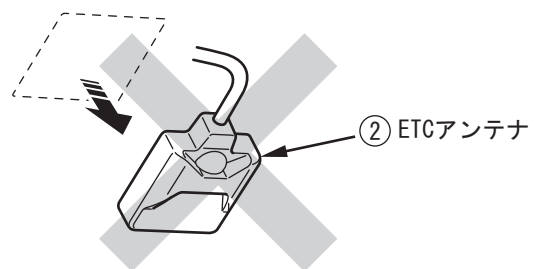
4. ETC アンテナの上端を基準となる水平のマーキングに合わせ、中心を垂直のマーキングに合わせてETC アンテナをフロントガラス内側に貼り付け、押さえつけてしっかりと接着させる。



気温が低い (20℃以下) と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、ガラス面および両面テープ側を暖めてから貼り付けてください。



貼り直しは接着力が落ちるので絶対に行わないでください。ETC アンテナが落下するおそれがあります。



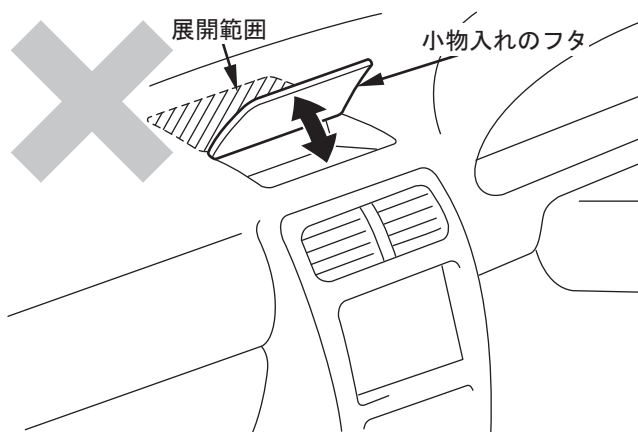
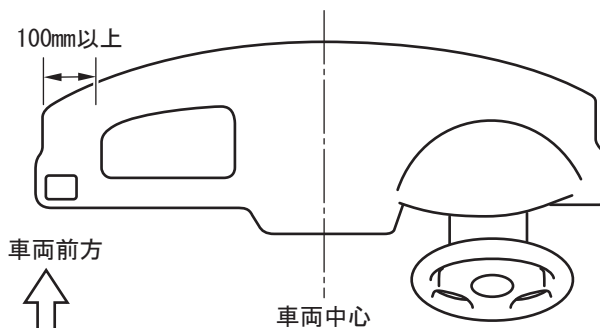
光ビーコンアンテナの取り付け

ー光ビーコンアンテナの取り付け位置についてー

- ダッシュボード上部のなるべく車両中心付近で、光ビーコンアンテナ底部の取り付け面が、水平に対して左右の傾きが8度以内、前後の傾きが5度以内になるような場所に取り付け位置を決めます。

アドバイス

- 光ビーコンアンテナは光通信を行っていますので、光ビーコンアンテナの上やフロントガラス側には物を置かないでください。通信できなくなる場合があります。
- 車両中心に取り付けることをおすすめしますが、受信感度に問題がなければ、車両中心より助手席側（左ハンドル車の場合は運転席側）に取り付け位置を変えても問題ありません。
- 光ビーコンアンテナと GPS などのアンテナが近接する場合、相互に干渉を起こす可能性があるため、以下の点に留意して取り付け位置を決めてください。
 - 1) Aピラーから100mm以上離れていること。
 - 2) GPS アンテナなど他のアンテナから100mm以上離れていること。
 - 3) 前面から見てワイパーの払拭範囲内であること。
 - 4) デフロスタの吹出口の風が光ビーコンアンテナに直接かからないこと。
- フロントガラスへの光ビーコンアンテナの映り込みが出来るだけ少ないようフロントガラスに近い位置へ取り付けてください。
- 光ビーコンアンテナコードの長さを考慮して、DSRCユニットに届く位置に取り付けてください。（全長3.5m）
- 小物入れのフタ等の可動部および展開範囲への取り付けは避けてください。



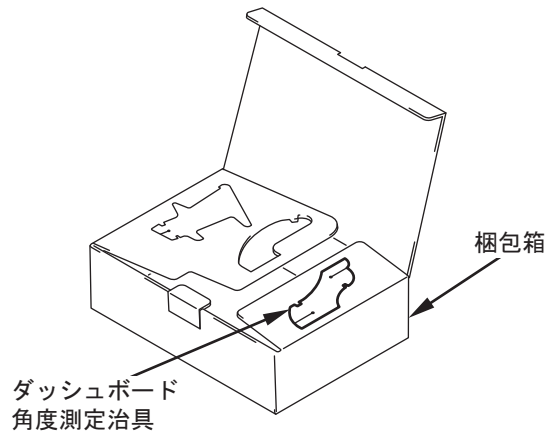
警告

助手席エアバッグの近くに光ビーコンアンテナを取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・怪我の原因になります。

1. ダッシュボード角度測定治具を梱包箱から切り離す。



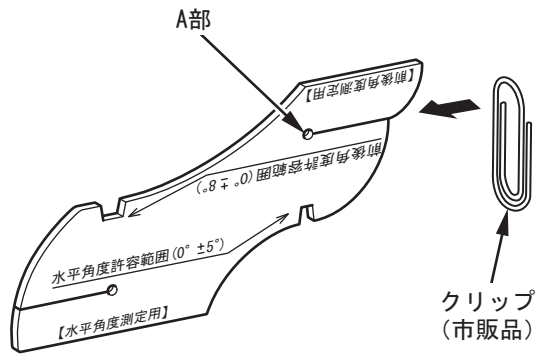
切り離す際、ダッシュボード角度測定治具が折れ曲がったり破れないようにしてください。



2. ダッシュボード角度測定治具の水平角度測定用 (A部側) の方へ市販のクリップを付ける。



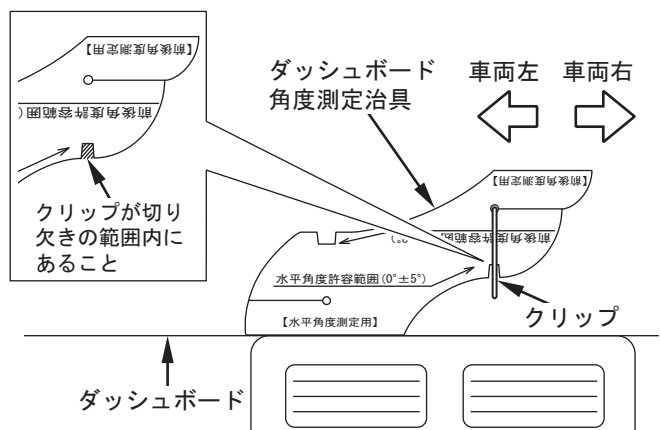
A部に穴をあけてクリップを通し、クリップが自由に動く状態にしてください。



3. ダッシュボードの取り付け位置にダッシュボード角度測定治具をあて、ダッシュボードの水平角度を測定する。



クリップが切り欠きの範囲にあることを確認してください。範囲外となる場合にはその場所への取り付けはできませんので、別の場所を探してください。

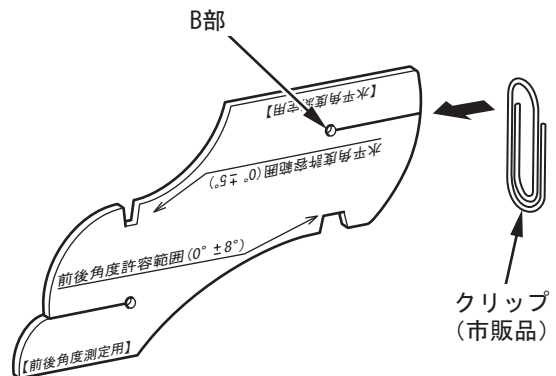


4. ダッシュボード角度測定治具の前後角度測定用 (B部側) の方へ市販のクリップを付ける。



アドバイス

B部に穴をあけてクリップを通し、クリップが自由に動く状態にしてください。

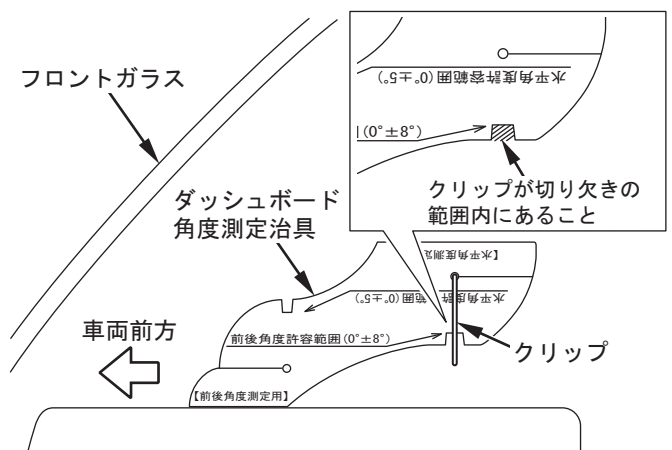


5. ダッシュボードの取り付け位置にダッシュボード角度測定治具をあて、ダッシュボードの前後角度を測定する。



アドバイス

クリップが切り欠きの範囲にあることを確認してください。範囲外となる場合にはその場所への取り付けはできませんので、別の場所を探してください。



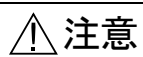
6. 光ビーコンアンテナから剥離紙をはがす。

7. ダッシュボード角度測定治具を使って決めた取り付け位置に貼り付け、押さえつけてしっかりと接着させる。



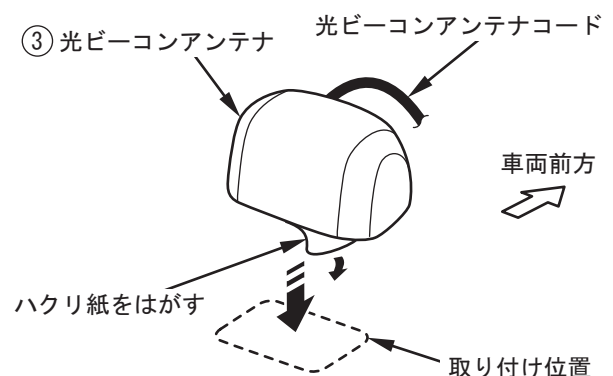
アドバイス

- 取り付けの際は、光ビーコンアンテナコードを必ず車両前方（フロントガラス側）に向けて取り付けてください。取り付け方向を間違えると通信ができなくなります。
- 貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふきとってください。
- 気温が低い（20℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、接着面を暖めてから貼り付けてください。



注意

貼り直しは接着力が落ちるので絶対に行わないでください。



DSRC ユニットの取り付け

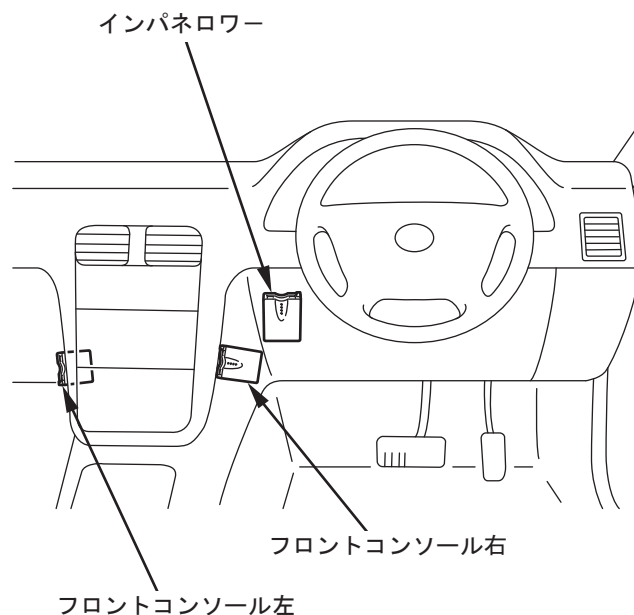
— DSRC ユニットの取り付け位置について —

- お客様の利用状況を確認した上で取り付け位置を決定してください。
- 以下の条件に留意して取り付け位置を決定してください。



- 運転・操作に支障の無いこと。
- 運転者から操作が容易であること。
- 水、塵などの進入の無いこと。
- シートをスライドさせて干渉しないこと。
- シフトレバー、パーキングブレーキレバーの可動範囲を避けること。
- 灰皿、カップホルダーの直下など異物が浸入するおそれのある場所を避けること。
- エアコン内気センサー孔、オーディオスピーカーなどを塞がないこと。
- ETC アンテナコード (3.5m) の長さを考慮して ETC アンテナに届く位置であること。
- ETC カードの抜き差しに支障の無い位置であること。
- DSRC ユニットのスピーカーを塞ぐような位置でないこと。
- ダッシュボード上のような直射日光にさらされ、著しく高温になる位置でないこと。
- 振動の多いところやグローブボックスなどの可動する部品への取り付けは避けること。

インパネ付近への取り付け例

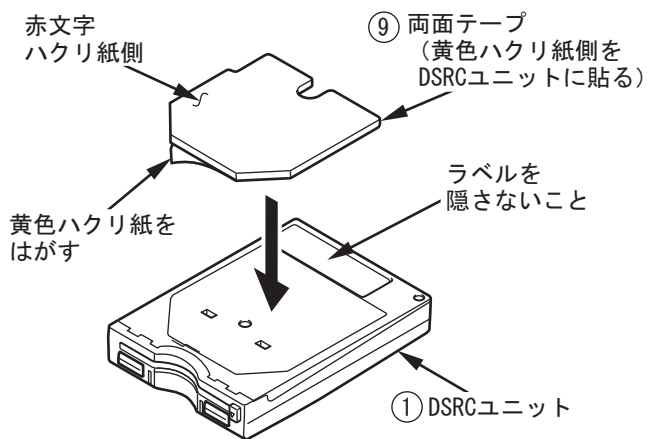


— DSRCユニットの取り付けについて —

1. DSRCユニットの背面に両面テープを貼り付ける。



- 黄色ハクリ紙側の接着面をDSRCユニット側に貼り付けてください。赤文字ハクリ紙が車両側になるように貼り付けます。
- DSRCユニットのスピーカー側には両面テープを貼らないでください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、接着面を暖めてから貼り付けてください。



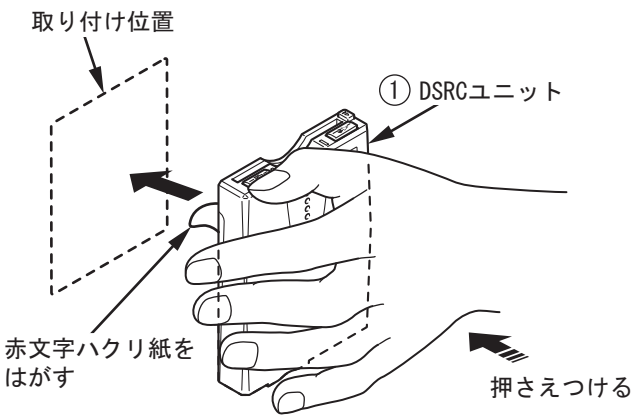
2. 両面テープの赤文字ハクリ紙をはがして取り付け位置にDSRCユニットを貼り付け、十分に接着するように押さえつける。



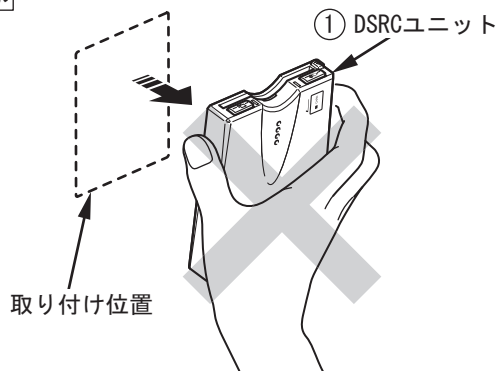
DSRCユニットの中央部は強く押さえないでください。破損するおそれがあります。



- 貼り付ける際、取り付け位置を脱脂処理(シリコンオフ)し、十分乾かしてから取り付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、接着面を暖めてから貼り付けてください。



貼り直しは粘着力が落ちるので絶対に行わないでください。DSRCユニットが落下するおそれがあります。

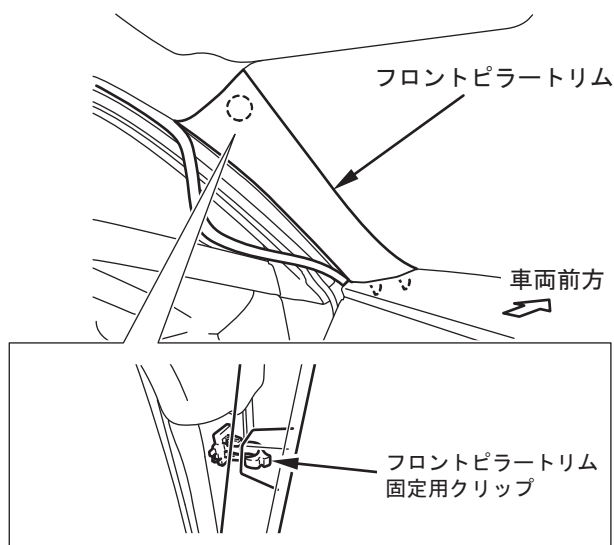


配線作業

— ETC アンテナコードの配線 —

⚠ 注意

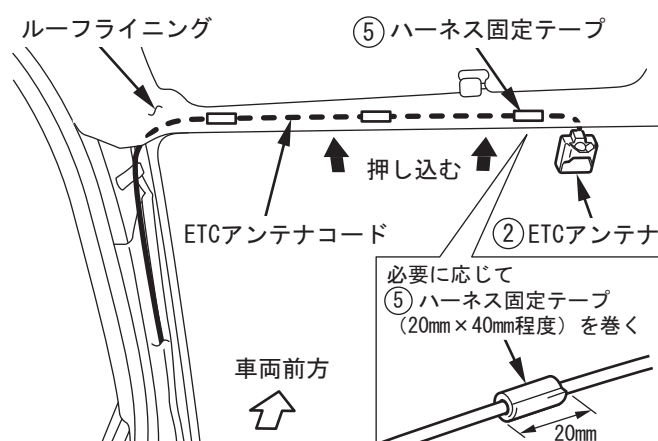
- カーテンエアバッグ付き車の場合、フロントピラートリム固定用クリップを交換する必要がある場合があります。フロントピラートリムを取りはずす際は、ディーラー等にご相談ください。
- ETC アンテナコードはカーテンエアバッグの作動を妨げないように配線してください。



1. ETC アンテナコードをフロントガラスとルーフライニングの隙間に入れ、フロントピラー部まで配線する。

🔍 アドバイス

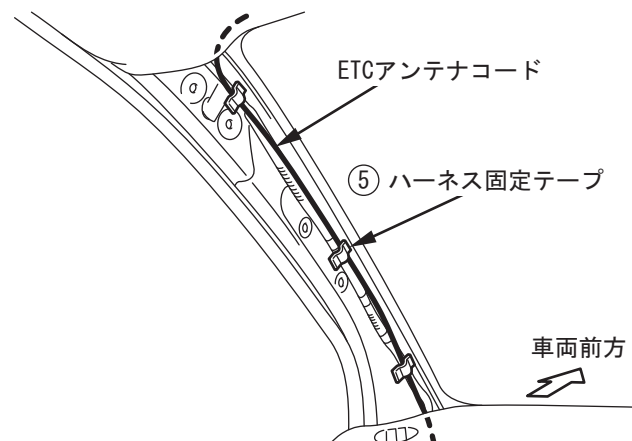
- 必要に応じて ETC アンテナコードにハーネス固定テープ (20mm × 40mm 程度に切ったもの) を巻いてください。
- ETC アンテナコードは必要に応じて左右どちらかの適切なルートで配線してください。
- ETC アンテナコードはプラスチックリムーバー等の工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



2. ETC アンテナコードをハーネス固定テープでフロントピラーに固定し、フロントピラー下の隙間からダッシュボード内に通す。

🔍 アドバイス

ETC アンテナコードの配線は、クリップおよびボルト穴を塞いだり、スポット溶接等のエッジ部に触れたりしないよう固定してください。



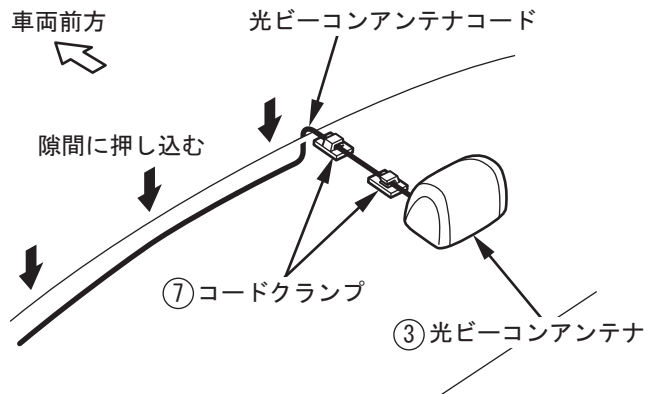
—光ビーコンアンテナコードの配線—

1. 光ビーコンアンテナコードを車両前方に配線し、コードクランプでダッシュボードに固定する。

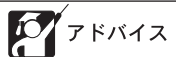


アドバイス

コードクランプを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

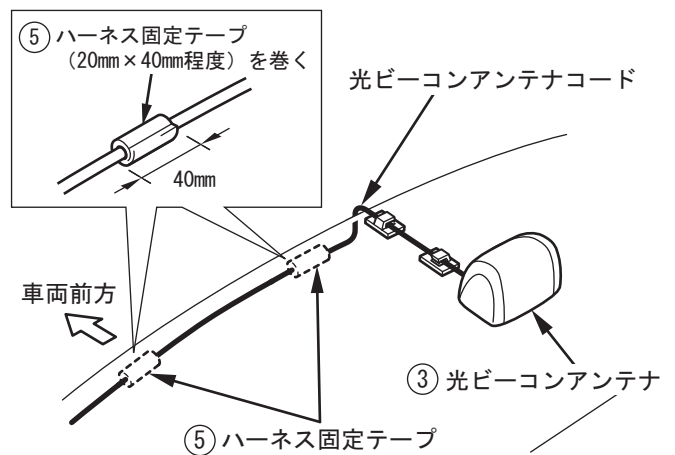


2. 光ビーコンアンテナコードをフロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み、フロントピラー部まで配線する。



アドバイス

- 光ビーコンアンテナコードは必要に応じて、左右どちらかの適切なルートで配線してください。
- 光ビーコンアンテナコードはプラスチックリムーバー等の工具を使用して損傷しないように押し込んでください。
- フロントガラスとダッシュボードの隙間が大きい場合は、光ビーコンアンテナコードにハーネス固定テープ (20mm × 40mm 程度に切ったもの) を巻いてから隙間に押し込み、コードを固定してください。



—共通—

1. ETC アンテナコードを DSRC ユニット取り付け位置まで配線し、バンドクランプ、ハーネス固定テープを使用して適切な位置に固定する。
2. 電源ハーネスおよび DSRC 用 USB ケーブルを DSRC ユニットからオーディオ部まで配線し、バンドクランプ、ハーネス固定テープ、コードクランプを使用して適切な位置に固定する。
3. 光ビーコンアンテナコードをフロントピラー下またはオーディオ部付近まで配線し、電源ハーネスの 5P コネクターと接続する。コードはバンドクランプ、ハーネス固定テープ、コードクランプを使用して適切な位置に固定する。

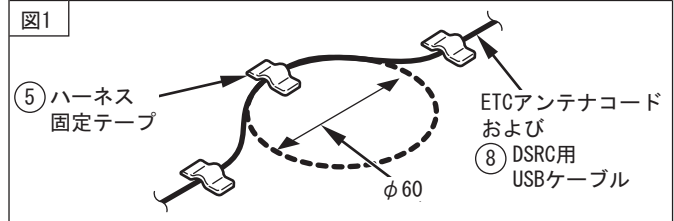
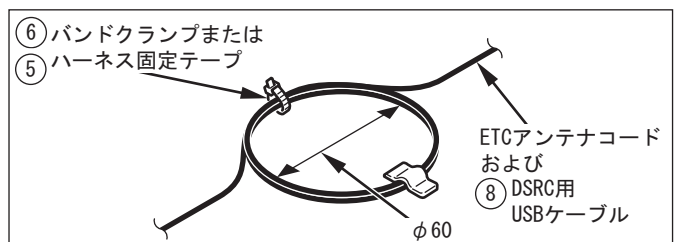
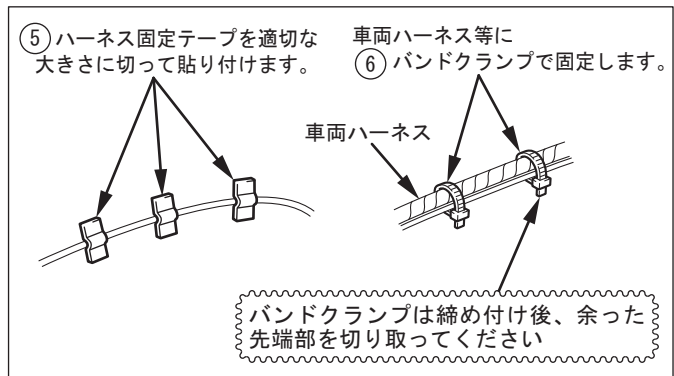
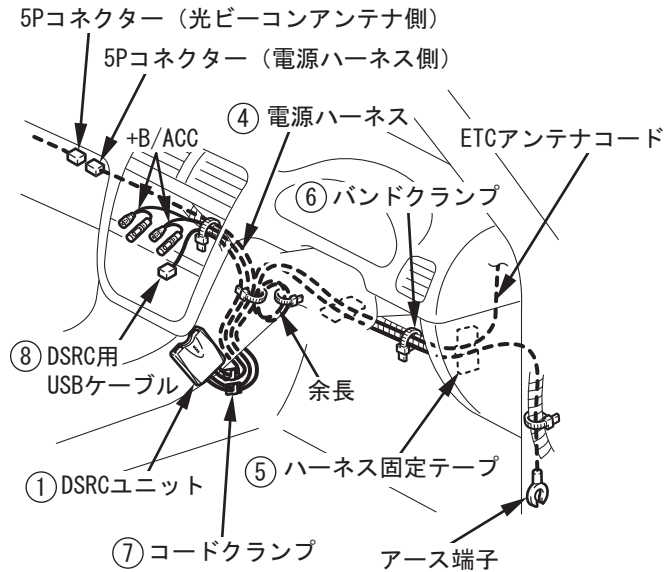
注意

- 配線する際、可動部やエッジ部等に干渉しないよう注意して配線を行ってください。
- ETC アンテナコードおよび DSRC 用 USB ケーブルをバンドクランプで固定する際は、コードが変形するほど強く締め付けしないでください。
- 受信感度が著しく低下するおそれがありますので、ETC アンテナコードおよび DSRC 用 USB ケーブルの余長は必ず φ60 以上でリング状にしてください。
- 余長が少なくリングが作れない場合は図1のように処理してください。
- 重要保安部（エアバッグ等）の車両ハーネスへは固定しないでください。誤作動の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- 配線は左右どちらか各々の車両に適した向きへ取り回してください。
- 異音防止のため、コネクターにハーネス固定テープを巻いてください。
- 異音防止のため、ヒューズ部を車両ハーネス等にバンドクランプで固定してください。
- 余長分は束ねて車両ハーネス等にバンドクランプで固定してください。
- バンドクランプは締め付け後、余った先端部を切り取ってください。切り取る際、なるべく根元でカットし、斜めカットはしないでください。また、切り口は下向きにしてください。

インパネ付近への取り付け例



4. 電源ハーネス、DSRC 用 USB ケーブルおよび ETC アンテナコードを DSRC ユニットに接続する。
5. 電源ハーネスのゴムブーツを DSRC ユニットに差し込む。

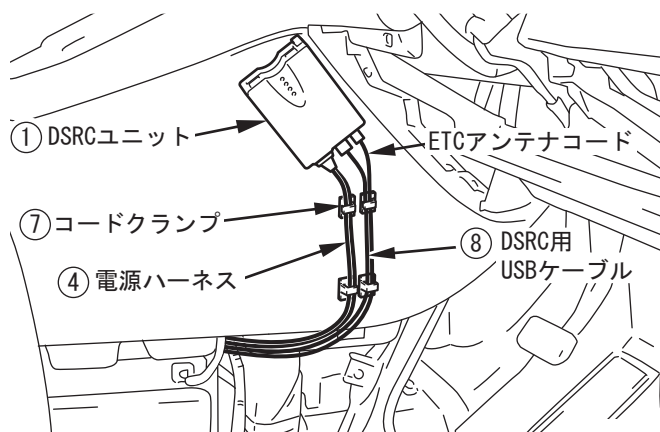
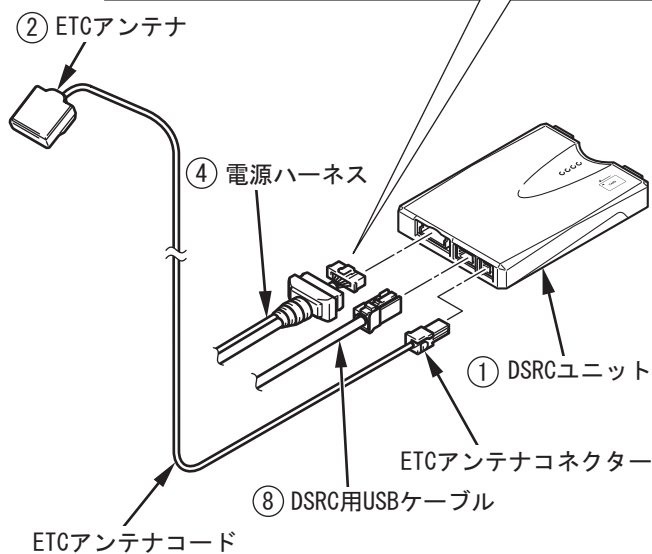
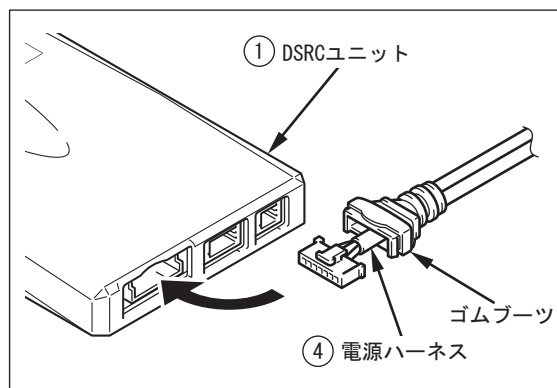
注意

- DSRC ユニットに ETC アンテナコネクタを接続する際、“カチッ”と音がするまで、しっかり差し込んでください。
差し込みが不足した場合、ETC アンテナ外れ警告をします。
- ETC アンテナ外れ警告 (※) をした場合は、以下の順序で作業してください。
 - ① ETC アンテナコネクタはキースイッチを OFF にしてから接続し直してください。
ETC アンテナ外れ警告はキースイッチを ACC から OFF にしないと解除されません。
 - ② キースイッチを ACC にして ETC カードを挿入し、ETC アンテナ外れ警告をしないことを確認してください。
 (※) ETC アンテナ外れ警告：
ETC アンテナコネクタの接続が異常のとき、ETC カードを挿入するとブザー音が「ピーッ」と鳴り、「アンテナの接続が異常です。ETC をご利用できません。コード 07」と音声案内します。橙色ランプが点滅します。

6. ETC アンテナコード、DSRC 用 USB ケーブル、電源ハーネスをコードクランプを使用して固定する。

アドバイス

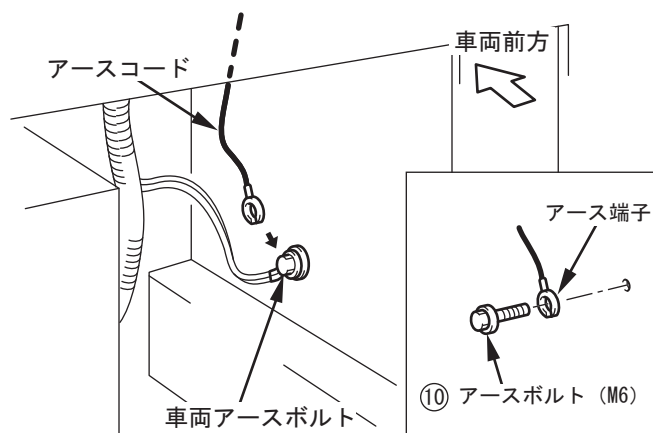
貼り付ける際、貼り付け位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふきとってください。



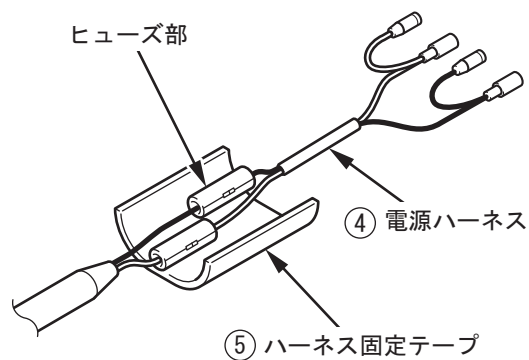
7. アースコードをカウルサイド等のアースボルトに接続する。



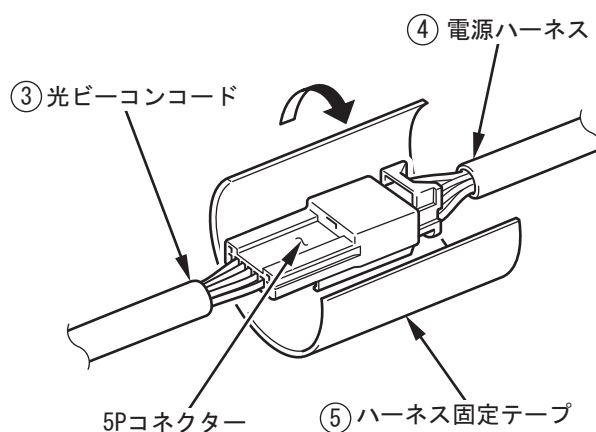
- 車両側にアースボルトが無い場合は、キット内のアースボルト (M6) を使用して、確実にアースを取ってください。
- サーキットテスターで確実にアースが取れていることを確認してください。
- アースボルトの径が大きい場合はアースボルトの径に合わせてアース端子をひろげて取り付けてください。



8. 電源ハーネスのヒューズ部に異音防止のためハーネス固定テープを巻き付ける。



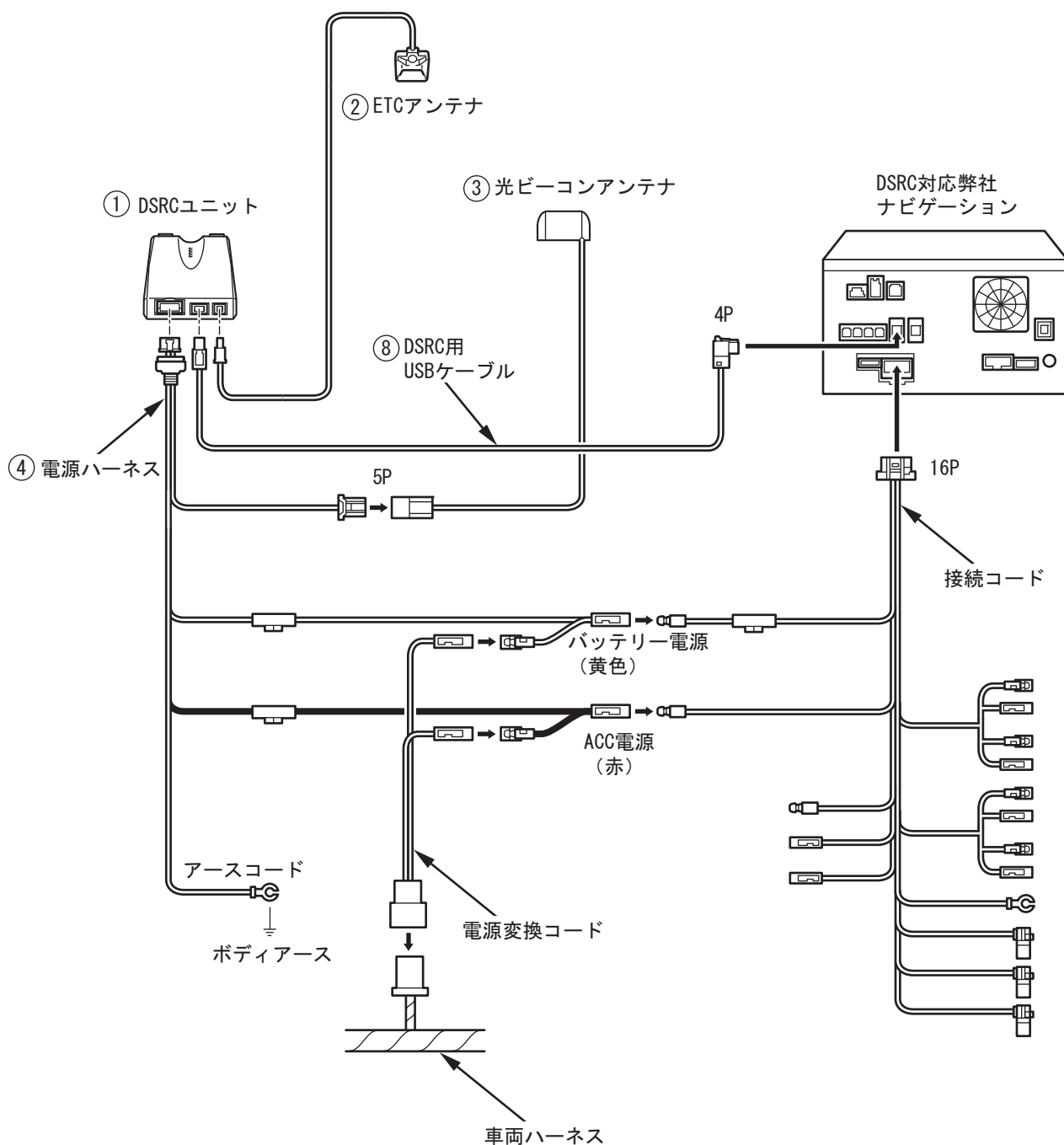
9. 光ビーコンコードの 5P コネクター部に異音防止のためハーネス固定テープを巻き付ける。



接続について - 例 -



- メインユニットに接続する前に各ユニットの取り付けおよび配線を行ってください。
- 必ず、接続する機種種の取付説明書を参照してください。



取り付け完了後の点検について

－取り付けの確認－

1. 配線や取り付けに異常がないか点検すること。
2. 特に車両ハーネス、電源ハーネス等を無理に押ししたり、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検すること。またコードクランプおよびバンドクランプのはずれや、部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

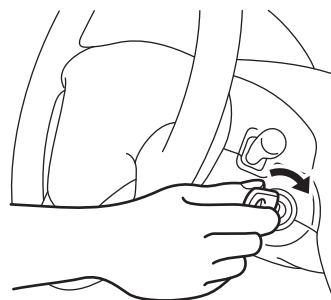
－DSRCユニットの作動確認－

1. 車のエンジンを始動する。



アドバイス

キースイッチを「ACC」または「ON」にするとDSRCユニットの電源が入ります。



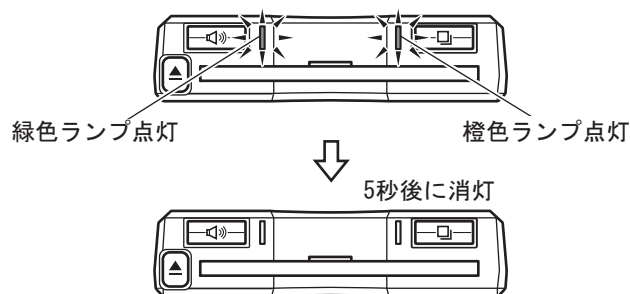
2. DSRCユニットのすべてのランプが点灯した5秒後に緑色ランプと橙色ランプが消灯することを確認する。なお、挿入口照明ランプは点灯したままです。



アドバイス

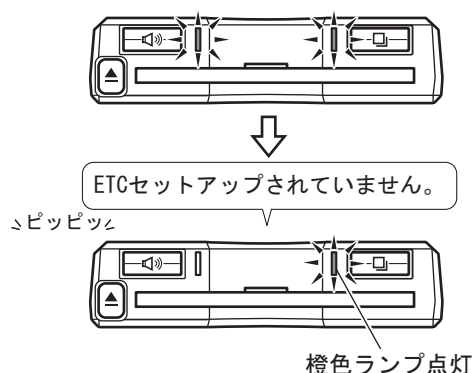
- DSRCユニットに異常が発生した場合は、橙色ランプの表示点滅とブザー音および音声案内により、異常を通知します。
- 異常が通知された場合は、エラーコードを確認してください。エラーコードの確認方法は、取扱説明書を参照してください。

■セットアップが実施してある場合



3. DSRCユニットのすべてのランプが点灯した後に、緑色ランプが消灯しブザー音が「ピッピッ」と鳴り、「ETC セットアップされていません。」と音声案内することを確認する。また、橙色ランプが点灯することを確認する。

■セットアップが未実施の場合

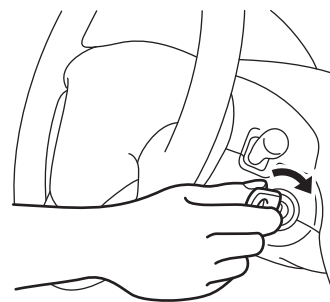


ーメインユニットの作動確認ー

1. 車両のエンジンを始動し、ナビゲーションを起動する。



- ナビゲーションが起動するまでは、ACC OFF やメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンを始動してください。



2. 接続状態を確認する。



メインユニットの機種によりメニューが異なります。詳しくは、接続するメインユニットの取扱説明書を参照してください。

- ① 本体前面の **MENU** ボタンを押し、**情報** タブにタッチする。
- ② **ETC/DSRC** タブにタッチできることを確認する。



タブにタッチできない場合は、DSRC との接続状態を再度確認してください。

- ③ “情報画面” に戻り、**SYSTEM CHECK** タブにタッチする。
- ④ **▼** や **▲** にタッチして画面を送り、**ETC/DSRC** が “OK” になっていることを確認してください。

－復元作業－

取りはずした車両部品を元通り復元してください。特にトリム等の内装材は車両の機能に悪影響をあたえないよう、確実に取り付けてください。また、復元するにはハーネス類のかみ込み、ボルト・ビス等の締め忘れがないように注意してください。

－最終確認－

1. ハーネス類のかみ込み、車両部品の取り付けに異常がないか確認してください。
2. ライト類、ワイパー&ウォッシャー、メーター、表示灯、警告灯等の車両機能に異常がないか確認してください。

セットアップ要領 [セットアップ事業者（販売店等）様用]

■ セットアップカード作成時の注意事項

- ・「DSRC 車載器セットアップ申込書・証明書」の記入とセットアップ端末へ識別処理情報を入力する際、車載器管理番号が、正しく入力されたことを確認してください。

(1) エンジンを始動してDSRCユニットの電源を入れる。

- ・すべてのランプが点灯する。
- ・5秒後に緑色ランプが消灯し、「ピッピッ、ETCセットアップされていません。」と音声案内する。（橙色ランプは点灯のままです。）



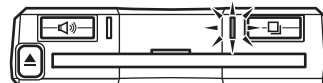
アドバイス

既にセットアップされているDSRCユニットでは、5秒後に緑色と橙色のランプが共に消灯します。



ETCセットアップされていません。

△ピッピッ



△ピッ



セットアップ完了しました。

△ポーン



(2) セットアップカードをDSRCユニットに挿入する。

- ・緑色ランプが点滅し、ブザー音が「ピッ」と鳴り、セットアップカードの読み取り中になる。
- ・セットアップが完了すると、緑色ランプが消灯し、ブザー音が「ポーン」と鳴り、「セットアップ完了しました。」と音声案内する。



アドバイス

「セットアップ完了しました。」と音声案内されることを確認してください。

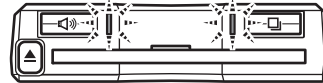
(3) セットアップカードを抜き、エンジンを停止してDSRCユニットの電源を切る。

セットアップが完了しなかった場合

- (1) 車載器管理番号の異なるセットアップカードを挿入した場合
「ピッピッ、車載器管理番号が一致しません。ETC（またはDSRC）セットアップに失敗しました。セットアップカードを確認してください。コード05。」と音声案内し、緑色と橙色ランプが共に点滅して、ブザー音が「ピッピッ」と鳴り続ける。
- (2) 使用済みのセットアップカードを挿入した場合
「ピッピッ、セットアップカードを読めません。カードを確認してください。コード05。」と音声案内し、橙色ランプが点滅して、ブザー音が「ピッピッ」と鳴り続ける。
- (3) セットアップカードが異常の場合
「ピッピッ、カードを読めません。ETC（またはDSRC）セットアップに失敗しました。コード05。」と音声案内し、橙色ランプが点滅して、ブザー音が「ピッピッ」と鳴り続ける。（コードは、02、03、05 の場合があります。）

セットアップカードを確認して、再度セットアップしてください。

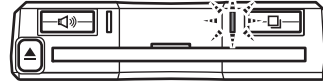
△ピッピッ



△ピッピッ



△ピッピッ

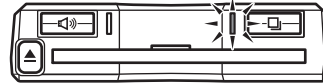


セットアップ完了前にセットアップカードを抜いた場合

- (1) 橙色ランプが点灯し、「ピッピッ、ETCセットアップされていません。」と音声案内する。
- (2) 上記(1)の状態になった場合は、セットアップカードを再挿入し、セットアップを再度実施する。

ETCセットアップされていません。

△ピッピッ



■ セットアップ情報を確認する（セットアップ情報通知機能）

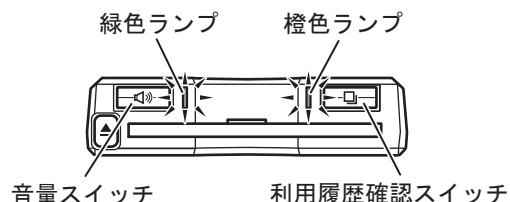
・DSRCユニット本体に書き込まれているセットアップ情報を音声で確認することができます。



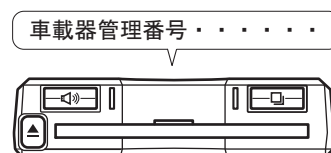
車載器管理番号は、お持ちのDSRCユニットまたは車載器管理番号シールに記載されている19桁の固有の番号で、ETCの各種割引サービスやITSスポットサービス（DSRC）を受ける場合、あるいは今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。

ーセットアップ情報通知モードの開始ー

- (1) ETCカードを挿入していない状態でエンジンを始動（または車両キースイッチを「ACC」）します。
- (2) DSRCユニットの緑色ランプと橙色ランプが点灯中に【利用履歴確認スイッチ】を2秒以上長押しします。



- ・DSRCユニットの緑色ランプと橙色ランプが消灯したら車載器管理番号を音声案内します。
- ・【利用履歴確認スイッチ】を押すたびに、通知内容が以下の順で切り替わります。



通知案内	音声案内（例）
車載器管理番号（19桁+C/D1桁） 00003-00104885-000043-6の場合	車載器管理番号、 0、0、0、0、3、 0、0、1、0、4、8、8、5、 0、0、0、0、4、3 6
型式登録番号 1234の場合	型式登録番号、 1、2、3、4
型式 DIU-B040の場合	型式、 D、I、U、B、0、4、0
ETCセットアップカード発行年月日 ※1 2013年09月15日の場合	ETCセットアップ日付、 1、3、0、9、1、5
DSRCセットアップカード発行年月日 ※2 2013年09月15日の場合	DSRCセットアップ日付、 1、3、0、9、1、5

※1：未セットアップの場合は、「ETCセットアップされていません。」と音声案内します。
 ※2：未セットアップの場合は、「DSRCセットアップされていません。」と音声案内します。



音量を消音に設定している場合は、音量1で音声案内します。なお、音量調整は【音量スイッチ】で切り替えることができます。

ーセットアップ情報通知モードの終了ー

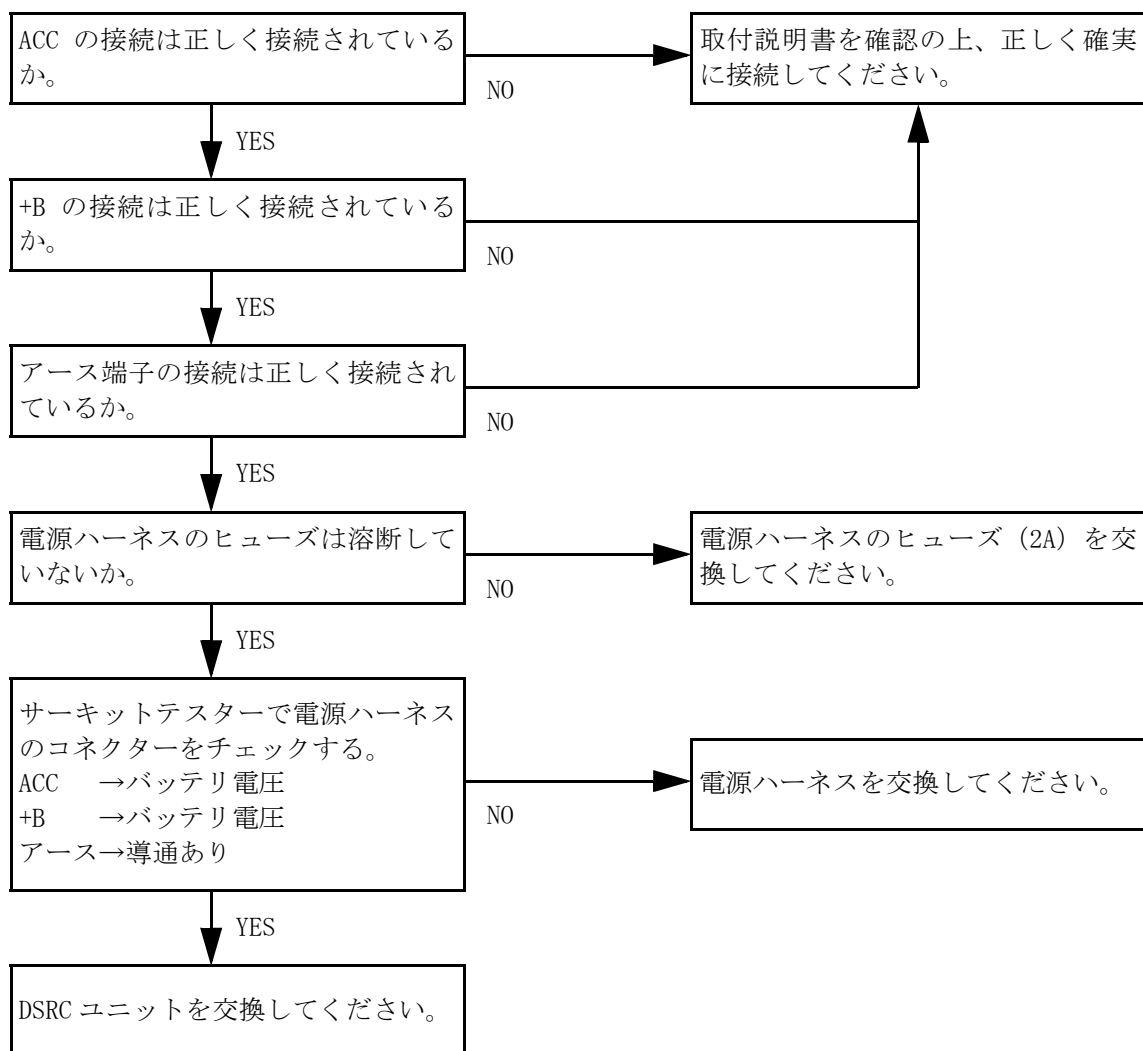
以下のいずれかを行うと、セットアップ情報通知モードを終了します。

- ・ETCカードを挿入
- ・エンジンを停止（または車両キースイッチを「OFF」）
- ・セットアップ情報通知の発話終了から1分後

トラブルシューティング [セットアップ事業者 (販売店等) 様用]

■ 車両機能 (特に電気系) に異常がないか確認してください。

エンジンを始動しても電源が入らない。



仕様

仕様		
電源電圧範囲		DC10V ~ 16V
消費電流	+B	1.8A 以下 (12V、25℃) 暗電流 1mA 以下
	ACC	10mA 以下 (12V、25℃)
動作温度範囲		- 30℃ ~ + 85℃
保存温度範囲		- 40℃ ~ + 90℃
ヒューマン・マシン インターフェース仕様	スピーカー	音声通知用スピーカー
	表示器	インジケータ用 LED × 2 (緑色、橙色)、 カード挿入口ライト LED × 1
通信周波数		5.8GHz 帯
送信電力		送信電力→空中線電力 定格 10mW
外形寸法	DSRC ユニット	70 (幅) × 97 (奥行) × 17 (高さ) mm
	ETC アンテナ	28 (幅) × 29 (奥行) × 10 (高さ) mm
	光ビーコンアンテナ	47 (幅) × 29 (奥行) × 22 (高さ) mm
重量	DSRC ユニット	98g
	ETC アンテナ	63g (含むコード)
	光ビーコンアンテナ	48g (含むコード)
適合 IC カード		ETC カード